

提 言

地方議員呼称について

国会議員、地方自治体議員（県議会議員、市町村会議員）

国会議員は、立法府。地方自治体議員は、行政府。

即ち、立法府の国会議員とは、議員という名は似ても実は非なるのが、地方議員です。

国会議員は、立法府で法律を、地方自治体議員は、行政府で条例をつくると言いますが、地方自治体議員の仕事は、地方自治体の首長提案の議案（条例）を審議し追認する事が重要な仕事と思われがちですし、現実です。

地方自治体議員の本来の仕事は、地方自治体運営の監視役です。即ち、首長（地方自治体職員）の監視です。

地方自治体議員＝行政監視委員（案）＝首長との関係は野党

首長、地方自治体議員との関係に於いては、国会議員の与党野党の関係は存在せず、首長との関係は地方自治体議員＝野党の関係こそ健全な、地方政治政策が為されるのです。

住民要望＝政策

政策実行は、首長の責任に於いて為されます。

では、議員の仕事は、政策提言ですか？

政策提言は、主権者（市民）です。

市民が直接首長に申し出る手段（システム）を首長は、構築すべきである。

そのシステムを構築せず、「市民→議員→首長」のシステムで議員を擁護し、首長（地方自治体職員）を守って来たのが現在のシステムです。

議員は、政策提言してきた市民に恩を売り、

首長は、議員口利きの政策実行で、議員に恩を売り。

市民は、議員に恩義を感じ、首長に恩義を感じ、疑い無く、納税に励みのが現状です。

首長（地方自治体議員）が政策提言し、議会承認で政策実行では、本来の民意は顕在化してこないのが現実です。

政策とは、納税額の決定、税金の使い道の決定をいいます。

政策提言は、市民から首長（地方自治体職員）へ、

議員は、その政策決定即ち、税額算出の決定、税の使い道が適正か否かを審査し、首長（地方自治体職員）を監視するのです。

そうすれば、天下り存在は無くなります。

いや、そうしないと税金の無駄遣い無くなりません。

天下りも如何に理由を付けても税金の無駄使いです、地方自治体議員の中にも平気で天下りしている輩がいるではありませんか！！

議員でなく行政監視委員としたなら、恥ずかしくて税金の無駄使いの筆頭である天下りを許す訳がありません。

速やかに「地方自治体議員＝行政監視委員（案）」とし、首長は、主権者（市民）の政策提言を議論する「政策議論市民会議」を設置しないと、民意の具現化は絵ぞら事となり、民意不在の地方自治体が永遠に存続することとなる。

よって、地方議員の呼称を行政監視委員（案）とし、首長（地方自治体議員）の税金の使い方を監視すべし。

文責：水野昇 2008年8月19日

地方自治体議員→呼称：行政監視委員へ

提言

市民の要望こそ行政の存在意義である。（公僕意識の啓発）
市民要望（政策要望）を
中学校区単位程の地域に設置した市民会議で
議論（ワークショップ）し、政策提言として、
首長（地方自治体職員）に提出
首長（地方自治体職員）は、その提言をリーダーとして吟味し、
政策実行に責任を持つ。
市民要望：要求型から市民自己決定型への転換

呼称：行政監視委員は、政策要望・政策実行の監視を行う。

政務調査は、市民会議が行う、
（政務調査費は、議員から市民会議メンバーへ）
予算を使用する場合、
呼称：行政監視委員の監視を受ける。

現状

政策形成に市民は、蚊帳の外。
議員は、報酬削減に取り組まず・
政務調査費の使途公開も消極的
選挙前には、公開するという
政治屋に成り下がり、
天下りを放置するどころか、
自分の再就職を
首長（地方自治体職員）に求める
体たらく
地方財政健全化
に取り組む姿勢は皆無！
超高齢化社会を迎える
財政健全化が急務の意識は何処？

